

マネックス証券とクレディセゾンが提携して
《セゾン》カード会員へ金融サービスを提供
クレディセゾンが証券仲介業登録を申請

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社(代表取締役社長 CEO 松本大)の子会社であるマネックス証券株式会社(代表取締役社長 松本大)と株式会社クレディセゾン(代表取締役社長 林野宏)は、1600万人の《セゾン》カード会員に向けて、金融サービスを提供することを目的に、証券仲介業制度を活用した提携を行うことで本日合意いたしましたのでお知らせ致します。

提携の目的とメリット

クレディセゾンでは、これまで異業種各社との提携によるカード会員向け保険商品の販売や、優遇金利付き普通預金など、1600万人の《セゾン》カード会員に向けた金融サービスを提供してまいりました。本年4月から証券仲介業制度が新たに導入されたのに伴い、証券口座の開設や投資信託の販売などが可能となることから、証券仲介業に参入することを決定いたしました。

これに合わせ、以前から提携関係にあったマネックス証券との提携分野を拡大し、《セゾン》カード会員向けの独自の投資商品の提供等も視野に入れ、初心者にも使いやすいマネックス証券の良質な証券取引機能の紹介や、証券口座開設などの証券仲介業務を開始し、《セゾン》カード会員向け金融サービスの拡充を図ってまいります。

一方、マネックス証券は20代から30代の若い女性層を中心とする《セゾン》カード会員に向けた積極的な施策により、既存の顧客基盤をさらに拡大していきます。また、マネックス証券はオンライン証券会社として、ホームページを中心とする店舗を持たない証券業を展開してまいりましたが、クレディセゾンのもつセゾンカウンターを利用することによって、《セゾン》カード会員に対面で口座開設等の対応ができるようになり、お客様にとって、よりいっそう便利で利用しやすい証券取引環境を提供できるようになります。

マネックス証券とクレディセゾンの取り組み

マネックス証券とクレディセゾンは2001年5月に提携し、マネックス証券の証券総合取引口座での決済が可能なクレジットカード機能とキャッシュカード機能を持つ一体型カード「マネックス《セゾン》カード」を発行しております。《セゾン》カードのご利用代金をマネックス証券の証券総合取引口座から引き落とすことができるサービスや、マネックス証券での取引における取引手数料に応じて付与されるマネックスポイントの付与率を《セゾン》カード会員に対し優遇するなどのサービスを提供しております。

個人投資家向け金融サービスにおいて常に先進的役割を担ってきたマネックス証券と、流通系カード首位のクレディセゾンの両社が証券仲介業を利用した新たなビジネスモデルを作り上げることにより、提携関係をさらに強固なものとしつつ、個人のお客様により便利で身近な金融サービスを提供できるようになると考えております。詳細につきましては今後両社で決定して参ります。

【お問い合わせ先】

マネックス・ビーンズ・ホールディングス(株)CEO室 広報・IR担当(牧野)	電話03-6212-3750
(株)クレディセゾン 広報室(坂本・佐藤)	電話03-3982-0700

マネックス証券株式会社

資本金：6,395百万円(2004年8月2日現在)

事業内容：証券業、証券業付随業務、その他業務

口座数：264,457口座(2004年6月末現在)

預資産残高：8,473億円(2004年6月末現在)

マネックス証券は、マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社の子会社で、1999年10月に営業を開始した個人投資家のためのオンライン証券会社として、お客様にとって金融サービスをより身近なものとするべく株式だけでなく様々な金融商品を提供してまいりました。2005年5月には同じくマネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社の子会社である日興ビーンズ証券との合併を予定しています。今後は更に高いレベルでの顧客主義を追及するとともに、個人投資家の資産の管理や形成を支援する新しいタイプの総合ネット証券を目指してまいります。

株式会社クレディセゾン（東証一部上場：8253）

資本金：636億円

事業内容：クレジットカード・金融・小売ほか

取扱高：2兆9,244億円（2004年3月期）

クレディセゾンは、サービス先端企業として、新しい時代のカードビジネス思想を確立し、クレジットカードビジネス 1企業になることを目指しています。現在、VISA / MasterCard / JCB / AMERICAN EXPRESSという4つの国際ブランドと提携した国際カード、《セゾン》カードを発行し、2004年3月末においてカード会員数1,587万人とクレジットカード会社でトップレベルの地位を獲得しています。クレディセゾンでは業界に先駆けてポイント無期限化を導入するなど、常に顧客視点でのサービス開発に注力しております。今後もお客様に喜んでご利用いただけるファーストカードを目指して更なるカード事業の強化を推進してまいります。